

# 令和4年度 事業報告

自 令和4年4月 1日  
至 令和5年3月31日

令和4年度も、前年、前々年度に引き続き新型コロナウイルス感染により日本を含む世界情勢に大きな影響を与え混迷を生んだ年でした。

3月16日に再び福島県沖地震が前年とほぼ同じ地域を襲いました。また6月19日には石川県能登半島地震、6月26日には熊本県熊本地震それぞれ震度6から5弱の地震が発生しました。そのほか、7月から8月にかけては日本列島各地が線状降水帯や局地的大雨等による被害に見舞われました。毎年のように災害が発生し、瓦屋根に対する被害も収まることはありません。

経済においてもコロナ禍により政府の支援策、持続化給付金も全産業中、建設業界が最も多く申請され、いかに建設業界全体が厳しい経営環境に置かれているかを示していると判断できます。資材の高騰も前年より上昇傾向は止まらず、今後においても下降に転じる材料も見当たらない現状に加え、人手不足が常態化しており、建設業全体の問題として大きくとらえられております。

政府によると頻発する災害への対策として、防災・減災・国土強靱化への取り組みを加速させるとしております。このことは、全瓦連他が発行した「2021年改訂版 瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に記載された、住宅・建築物安全ストック形成事業とリンクした政策であると思われます。なお事業制度化については、単組からの地方自治体に対する働きかけが功を奏し始め、実を結びつつある状況に来ていると考えます。

令和4年度の主な事業活動を下記の通りご報告いたします。

## 記

### 主なる事業報告事項

#### ◎指導・PR委員会

##### 【指導関係】

1. 安スト事業陳情推進活動
2. 改訂瓦ガイドライン工法追加講習会の開催
3. 外部への改訂瓦ガイドラインの周知活動
4. 構成員拡大事業

##### 【PR関係】

1. PRグッズのリニューアル及び販売
2. PR大賞実施の検討
3. ユネスコ登録の推進

◎技術・安全委員会

【技術関係】

1. 例示工法収集について
2. ガイドライン適合棟金具アンケートについて
3. JKY2014 改訂作業について
4. 改訂ガイドライン解説書作成プロジェクト

【安全関係】

1. 全瓦連カレンダー・安全ポスターについて
2. 次年度掲載写真収集について
3. 第三者賠償保険加入促進のためのヒアリング

◎災害対策・危機管理室

1. 災害被害調査報告
2. 福島県沖地震調査・報告書作成
3. 情報の発信（継続準備中）

◎その他

全瓦技能グランプリ 2023 群馬大会 関東ブロック 開催

本葺き瓦・多段数棟に資する委員会

国立研究開発法人 建築研究所 実大強風雨発生装置屋根風圧係数・瓦飛散実験 共同  
研究参画（3 か年計画の1年目）